

芳賀青年の家 日誌

<p>1月21日</p>		<p>きれいに咲くヤブツバキの花を見つけました。冬を代表する花として人気のある椿ですが、木に春と書いて椿となるように昔から春の花として考えられてきたため、「三春の季語」になるそうです。</p>
<p>1月22日</p>		<p>本館ロビー内に飾っているシャコバサボテン(トアブリッタ)がきれいに咲いていました。多肉生の葉は乾燥に強く、日当たりや土の状態が良いと10年以上も株が長持ちする植物です。</p>
<p>1月26日</p>		<p>西明寺の駐車場にて紅梅が咲いているのを見つけました。陽当たりの良い場所にあるため、多くの花を付けていました。</p>
<p>1月27日</p>		<p>青年の家から利用者駐車場に向かう階段の風景です。普段何気なく見ている風景も、改めて見ると何だか幻想的に見えました。</p>
<p>1月27日</p>		<p>とちぎ国体における宿泊施設の調査がありました。芳賀青年の家がある益子町は、サッカー(少年男子)と軟式野球の会場になります。</p>
<p>1月27日</p>		<p>とちぎ国体の応援バンダナです。芳賀青年の家でも主催事業の際に、職員や参加者が身に付けたり、職員のパソコンに掛けるなどしてPRしています。</p>
<p>1月28日</p>		<p>職員研修で、高台削りを行いました。「ろくろで作る益子焼」講師の萩原先生のようにはもちろんいきませんが、少しでもサポートできる力を上げられるよう頑張っています。</p>